



# 私と中心性網膜症

やぶちゃん

## 中心性網膜症① 発症

---

☆ 中心性網膜症 ☆

ご存知でしょうか？

最初になったのは35歳くらいのときです。

この当時は、1年間に2週間程度の休みを取るだけでほとんど仕事をしていました。

(もちろん労基法違反ですが、自分が好きで勝手に仕事ばかりしていました)

ある日少し目がかすんだように思ったので、顔を上げて窓の外を見るとなんか視野の真ん中が少し黄色に見えるんです。

それもまん丸です。

少し見えにくいだけでそのまま仕事をしていたのですが、日を経るごとに黄色が濃くなっていくんです。

右目と左目で同じものを見ているのに左右でその色が違うとすごく疲れます。

また少し経つと、黄色い部分が少しゆがんで見えるようになりました。

それに大きさも少しずつ大きくなっていきます。

さすがにこれは、おかしい・・・

(なぜか、このフレーズ別のカテゴリでも使ったような気がするなあ～。)

で、病院へ病名は『中心性網膜症』でした。

網膜と水晶体の間にある毛細血管かが破れて血がもれている状態のことらしいです。

血がもれる量が多くなるにつれて黄色が濃くなったように見えるのです。

また、その量が多くなってくると網膜が圧迫されて、水晶体と網膜の間にレンズのような形に血がたまりなりそれが原因で中心分の黄色い部分で見たものをゆがめるらしいです。

その日はとりあえずこれで終わり。

眼底写真 (Wikipediaより)



【症状がわかりやすかったホームページ】

[日本眼科学会ホームページへ](#)

[藤田眼科ホームページへ](#)

2010.01.24 Sun

## 中心性網膜症② 眼底写真①

---

続いて、眼底の写真を撮ります。

眼科の検査はあのまぶしい光で目の奥を見ます。

ご存知の方はわかると思うのですが、大人でも涙ぼろぼろ流して太ももをぎゅっつつねって我慢しても辛い。

なのに医師は『はい力を抜いて、大きく目を開いて』なんて簡単そうに言うんです。

『ム！ム！ム！』

検査の前には散瞳しますよね。

『散瞳』ってご存知ですか？

検査のときに見やすいように瞳を広げるあのちょっとしみる目薬です。



瞳が大きく開いているのがわかりますか？

黒目の上の白い2つの丸は目薬がまつげについたものです。

それを2回（30分）程度するとさあ検査です。

あ！そうそう、途中で看護師さんが瞳の開き具合を何度か見に来てライトをかざしながら『は～いちょっと見せて下さい』って言われると、いすに座っているので不思議なことにほとんどの人が上を向いた時に口をあけます。開けないといけないのは目なんですけど？

私？もちろん人の振り見て我が振りなおせですから注意してます☹

さて本題！

今回は造影剤を血管に入れながら眼底を写真で取るんですよ。

最近も眼科にはお世話になっているのですが、この当時はやはり技術が未熟だったのか・・・思い出すだけで体に力が入っていきます。

散瞳をして造影剤を注射し、さあ眼底の写真撮影です。

読んでいる貴方、信じられますか目の前でそれも瞳のまん前でフラッシュがたかれて写真を撮るんです。

1枚や2枚ではありません。何枚も撮るんです。

**あれは間違いなく拷問です。絶対に！**

撮影が終るとしばらくはあたりが赤く見えたり、かすんだりもちろん散瞳しているのでピントは合いません。

結果は後日です。

(今は技術が進歩して少し待っていると結果を見ながら診察してもらえます。)

【症状がわかりやすかったホームページ】

[日本眼科学会ホームページへ](#)

[藤田眼科ホームページへ](#)

2010.01.28 Thu

## 中心性網膜症③ 眼底写真②

撮影後の結果です。

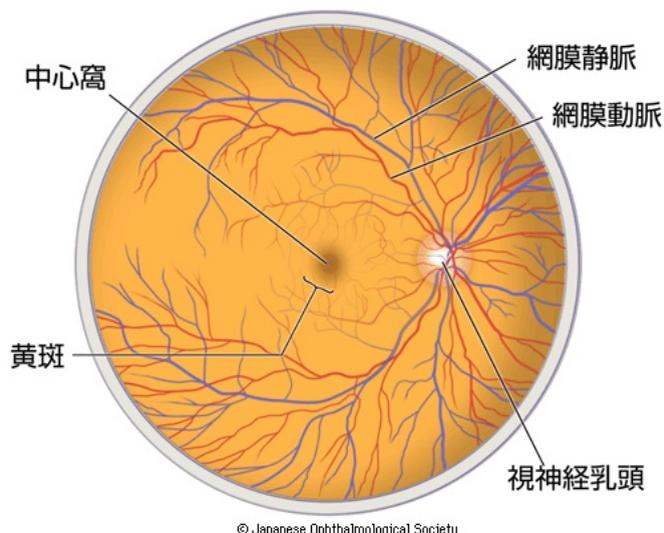
下の眼底（参考）写真の中心部が下の図にあるように毛細血管から血液が漏出して眼底の中央部が少し丸く浮いていました。

結局この部分が凸レンズのような役目をして本来見えている画像の中心部が、少し変形して丸くめていたのです。

自分の見せてもらった写真には、毛細血管の先に薄い放射状に流れてもれているような血液が写っていました。

治療法はその当時使われ始めた技術で【レーザー凝固】と言って漏れている毛細血管の先をレーザー光線で焼いてふたをするそうです。

[【日本眼科学会ホームページ】](#)より



2010.02.09 Tue

## 中心性網膜症④ レーザ凝固

---

さて、レーザーで眼底のもれている毛細血管を凝固します。

簡単に言うともれている血管の先をレーザーで焼いて組織を固めてしまうわけですね。

手術前に言われてのは、『手術中は眼球を動かさないように』とそりゃむづかしいやろ！と思いましたが、もちろん言ってません。

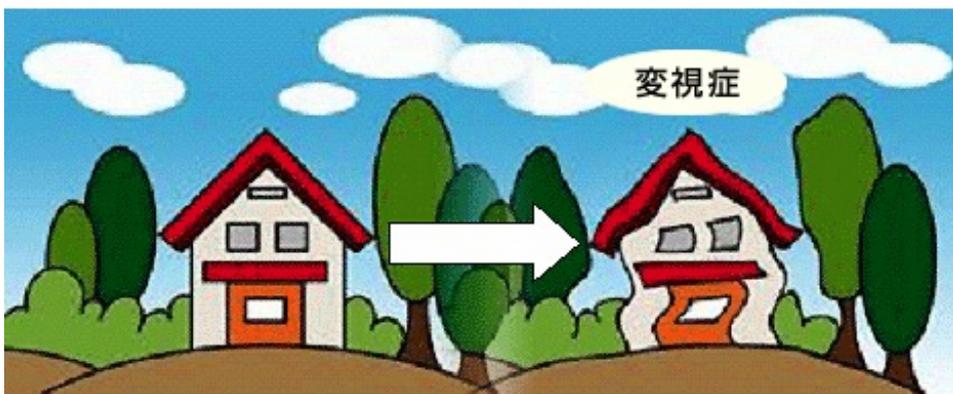
眼球が動くと、狙った血管と違うところにレーザーがあたるから。簡単そうに言わんといて欲しいな～。

で、手術は割りと簡単に終わったように思います。なぜかと言うと、今あまりそのときのことを覚えていないからです。

一応、手術も終わりその後は自然に溜まった液が吸収されるのを待つわけですが、結構な月日がかかりましたね。

これで、中心性網膜症は終わりかということ残念ながらそうは行きません。

この後3回も発症します。



© Japanese Ophthalmological Society

[【日本眼科学会ホームページ】](#)より

2010.02.15 Mon

## 中心性網膜症⑤ 再発

---

中心性網膜症は癖になるそうです。

私の場合は、レーザー凝固のあとも3年ほどの間に2回起きています。

レーザー凝固の後、中心の黄色い色が薄く気にならなくなるのに半年程度かかりました。

でも、これは実際に黄色が薄れたのと脳が左右に色の違いを調整してくれた為らしいです。

その証拠に、右目と左目で交互に同じものを見ると明らかに色が違います。

ところが、両目で見ると同じように見えます。

脳ってとっても不思議です。

見える色は健全なほうの目の色に調整されているようです。

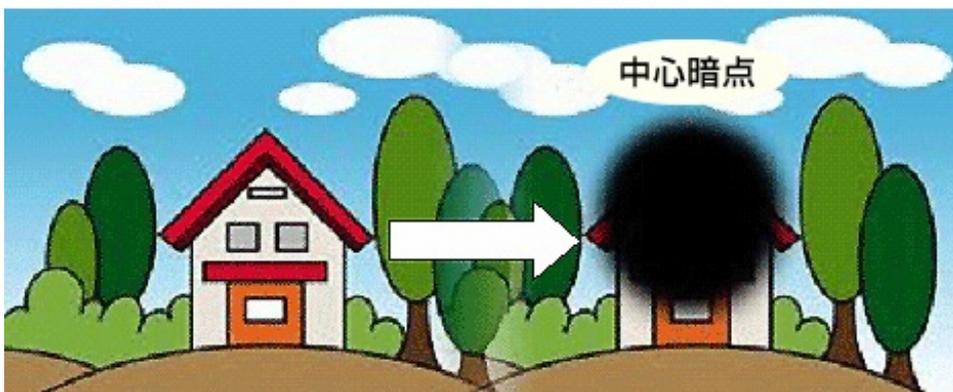
2回目の時は、割と軽く済んで2ヶ月弱で症状が落ち着きました。

しかし、3回目は後遺症が残りました。

中心性網膜症の後が少しゆがんで見えたままで、完全には戻りませんでした。

このあと10年ほどは発症しなかったのですが、  
中心部のゆがみは少しずつしかよくなっていきませんでした。

このあと、重篤な再発をします。



© Japanese Ophthalmological Society

[【日本眼科学会ホームページ】](#)より

【症状がわかりやすかったホームページ】

[日本眼科学会ホームページへ](#)

[藤田眼科 ホームページへ](#)

2010.03.02 Tue

## 中心性網膜症⑥ 重篤な再発

---

30代に数回発症した【中心性盲目症】！

これらは、まだ軽症でした。

視野の中心部は少し黄色に見えますが、脳が頑張ったお陰で両目で見ているときは右目で見ている色に調整されて見えていきました。

ところが、48歳のある日に起きた【中心性盲目症】はとっても重症でした。

『あれ！』と視野の異変を感じてから本の数時間の中にどんどん進行していきました。

どんどん中心部がゆがんで、色は濃い黄色に変わっていきました。

そのあと、初めての経験でした。

視野の中心が見えなくなってきたのです。

その範囲がどんどん広がっていきます。

さすがに今回は直ぐに病院に行きましたが、やはり決定的な治療法は無く投薬と経過観察と仕事を休むよう支持されただけでした。

でも、そのとき抱えていた仕事はどうしてもやめることが出来なくて、医者には黙って続けました。

日を追うごとに悪化していく左目の症状はついに、車の運転席から見る前方の車がすっぽり見えなくなるほどに拡大しました。

両目で前方を見ていると右目では前の車が見えるのですが、左目だけで見るとぼっかり黒い穴が開いたようになって車がまったく見えません。周りは見えるので何とか距離感は取れているのですが。経験と感だけでの運転です。

症状は治まるどころか一向に改善しません。

こんなことをしてはよくなるはずは無いのですが！

2010.03.16 Tue

## 中心性網膜症⑦ 重篤な再発その後

---

左り目の中心がぼっかりと穴が開いたように見えません。

このまま左目が見えなくなると不安が募ります。

見えなくなって約2ヶ月ほどで、やっと仕事が一段落つきました。  
症状の進行は止まりましたが、見えないことに変わりはありません。

病院に行っても特に何かが変わるわけではありません。  
(今でもそうなんですか？、この分野の医療の技術的進歩はどうなんですか？)

医師に症状を伝えても何かが変わるわけではなく、  
そのままの状態が続きます。

結局この後症状がある程度改善するのに約6年を要しました。

でもそれは見える範囲が少しずつ広がって行っただけで、  
視野にゆがみはあるし、中心部は相変わらず見えません。

結局行き着いた症状は  
左目の中心に新聞の文字で言うと縦横2文字分（計4文字）くらいが見えませんが、  
それも以前のようにぼっかり黒い穴のようではなくて  
ブラウン管テレビの放送終了後のシャーっと言う縞模様が流れるような画面の様に見えないの  
です。  
尚且つ、その周囲は相変わらずゆがんでいます。

本を読むのも新聞を読むのも車を運転するのも右目が働いています。

免許更新の検査では一応大丈夫ですが、  
それは右目が頑張っているからです。  
左目だけの視力検査では、視力検査表の最上段の文字も見えません。

ずっと近づくと見えるのですが、それは私が過去に知っている文字と脳が照合して判断している  
ようです。  
細かい文字はなんとなく感覚と想像で読んでいます。

左目だけでは文字を読むことは今でも出来ません。

この状態になって困ることがあります。

それは車をバックで車庫入れすると必ずまっすぐには入れ居ません。

どんなに頑張っても右向きに少しゆがんでます。

普通は右目と左目の視差で距離を測っていると思うのですが、私の場合はそれが出来ないようです。

【症状がわかりやすかったホームページ】

[日本眼科学会ホームページへ](#)

[藤田眼科 ホームページへ](#)

2010.03.22 Mon

## 中心性網膜症⑧ 目をつぶった時

現在の中心性網膜症の状態です。

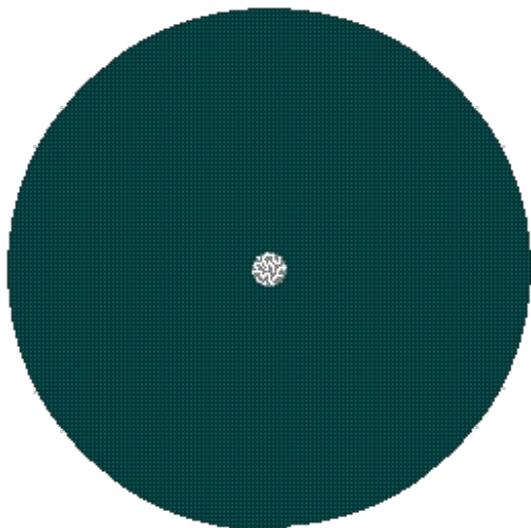
普段左目で物を見ていると視野の中心付近に見えない部分があるのです。

景色などはなんとなく全体を見ているので良いのですが、  
新聞や雑誌などを読もうとすると、新聞紙で言うと約4文字程度が見えません。

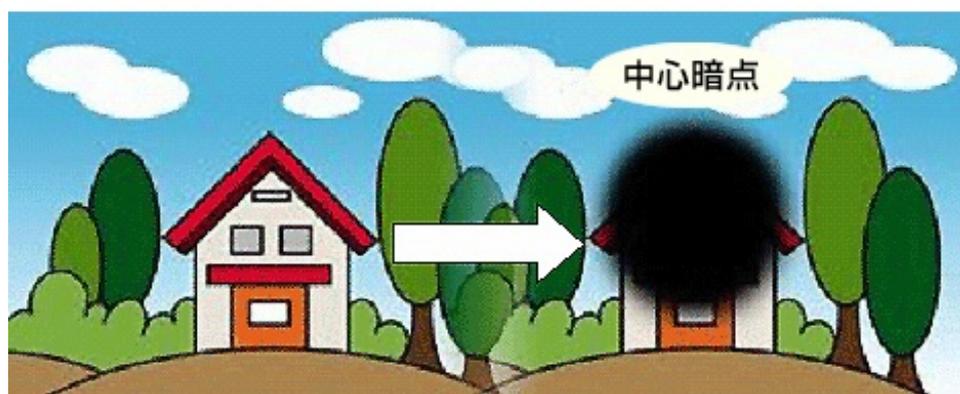
目を閉じてみると中心部のあたりがアニメーションの様に！  
ちょうどテレビの放送が終った後のような灰色？のような縞模様と言うか  
雑音？のような画像が見えます。

いや、見えていないのです。

それ以外はまぶたを通した外の明かりによって色んな明るさと色になりますが！  
手で覆って暗くしてみると下の様な感じです。



下は【[日本眼科学会のホームページ](#)】より



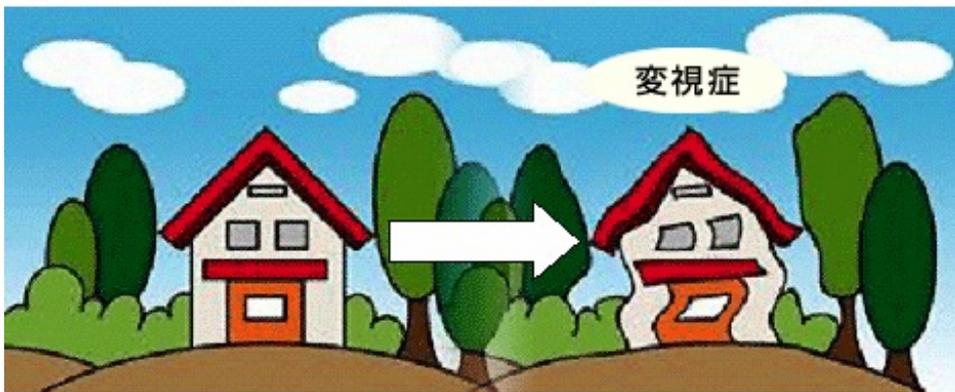
その上にこの円の周りが半径2倍くらいにゆがんで見えます。

実際にみた新聞のイメージです。



中心部の文字が4文字くらい全く見えません。  
また、その外側は相変わらずゆがんでいます。

下は【[日本眼科学会のホームページ](#)】より



© Japanese Ophthalmological Society

その上視線を動かすと結局その中心部が見えないわけですから、左目では文字は読めません。ね

2010.04.08 Thu

## 中心性網膜症⑨ 月1回の検査。

---

結局、様子を見るということで、病院では月1回の検査をすることになりました。

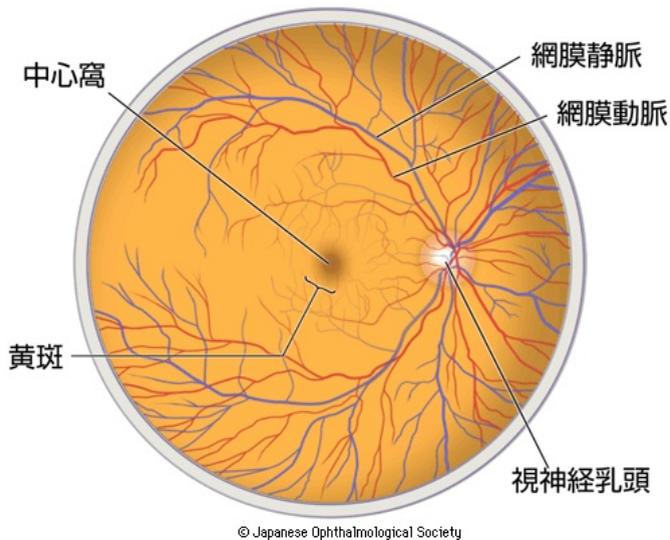
でも、あくまでも【ぶどう膜炎】の症状を検査するときにあわせて眼底の漏出液の状態を確認する検査が同時に行われるだけです。

毎回言われるのは『症状は進んでないです』というようなことで終わりです。

結局、症状がすでに長い年月のうちに固定していて、無理をして悪くなることはあっても様子を見るだけになっていたわけです。

まあ、【ぶどう膜炎】の検査に月1回行きますので、そのついでに見て貰うということがこの後1年ほど続きます。

[【日本眼科学会ホームページ】](#)より



眼底写真 (Wikipediaより)



【症状がわかりやすかったホームページ】

[日本眼科学会ホームページへ](#)

[藤田眼科 ホームページへ](#)

2010.04.13 Tue

## 中心性網膜症⑩ 結局 . . .

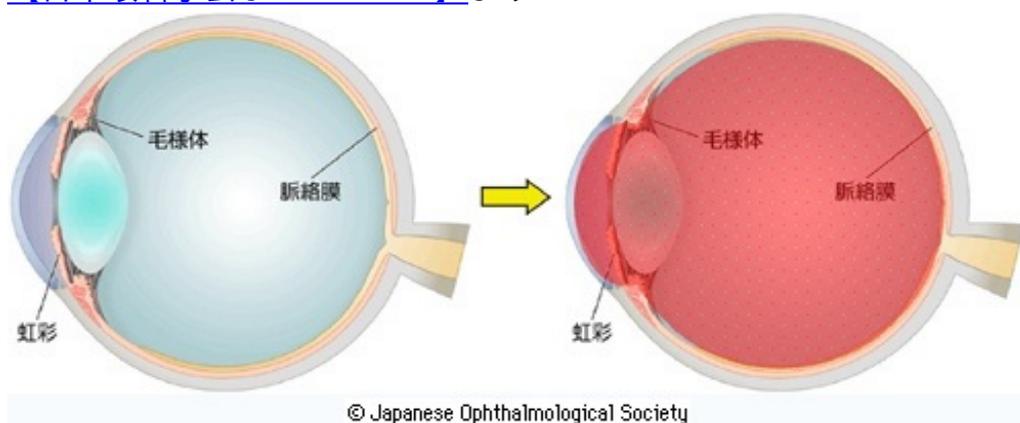
【ぶどう膜炎】の月1回の治療をするも特に変化も無く、あわせてする中心性網膜症の検査結果も変化無くもそのままです。

結局1年ほど続けましたが、病院通いを止めてしまいました。

その後、【ぶどう膜炎】【中心性網膜症】もそのままです。

と言うか、悪化はしていないようなのでそのままにしています。今もです。

[【日本眼科学会ホームページ】](#)より



眼底写真 (Wikipediaより)



【症状がわかりやすかったホームページ】

[日本眼科学会ホームページへ](#)

[藤田眼科 ホームページへ](#)

2010.05.16 Sun

## 中心性網膜症⑪ その後

---

症状も固定したまま、5年以上経過しました。

右目に負担をかけたままの毎日です。

昨年は免許更新のときに今までしたことのない検査をしました。

多分「視野角検査」とでも言うのでしょうかね。

左目が見えないので、代替の右目の視野角を計測して許容値以下では免許が交付されないみたいでした。

おかげで、右目は合格で免許証をもらうことが出来ました。

よく知りませんでした。「ブルー免許」とでも言うのでしょうか！

その上、2002年の道路交通法の改正によって、次回の更新は5年後でした。

[\(参考にしたホームページ\)](#)

次回は「ゴールド免許」になっているでしょうか？

ところで、本題です。

永い期間負担をかけていたからなのか解りませんが、左目の白内障が急に進んできました。

結局この後「左目の白内障手術」をすることになりました。

「中心性網膜症」の記事はこの後「私と白内障」の電子書籍に引き継ぎます。

2011-10-07 Wed